



包装産業 × 包装学

明治大学高分子科学研究所

明治大学高分子科学研究所の取り組み ～ オープン&クローズ戦略 ～

20世紀末はグローバル化・貿易対応(WTO/TBT協定)
研究開発・知財、標準化、規制引用・認証を、段階的に進行



21世紀に入り、企業の競争力の獲得と新市場創出へ
現在は、研究開発・知財、標準化、規制引用・認証の整備を同時に進行



研究開発の際に知財だけでなく
標準化も考慮する必要が出てきた。

さらに、科学技術の社会実装に必要な施策・法規制や財政措置等の社会制度
の視点を取り入れて活動しています。

私たちは、包装産業と包装学をうまくつなぎ、ここにオープン&クローズ戦略を組み入れて社会実装することを重要課題の1つと考えて活動しています。

いくつかのエリアをつないだ経済圏ごとに生分解性プラスチックによる資源循環システムこそ究極の「地産地消型サーキュラーエコノミー」ではないでしょうか。

生分解性バイオマスプラスチックを活用した サーキュラーエコノミーの導入イメージ

(動脈ルート：赤色、静脈ルート：青色)



